

日本作業療法士協会 2024年度重点活動項目

地域社会振興部長 辰己 一彦

香山副会長:地域社会における作業療法の振興に関する業務の分担執行

谷川常務理事:地域社会における作業療法の振興に関する業務の分担執行

東事務局長:理事会の指揮命令の下で事務局全体を統括し、本会の事業活動に資するデータの収集と分析、事業戦略の立案と評価、事業活動の企画調整を行う

実行機能

検討機能

地域社会振興部

辰己部長:業務執行の決定への参画、理事の職務の執行の監督、代表、執行理事の選・解任等

常設委員会

和久統括課長

士会連携課

災害対策課
小林理事

災害対策課

地域事業支援課
佐藤理事

地域事業支援課

地域包括ケア推進班

若林班長

運転と地域移動推進班

竹中理事

藤田班長

スポーツ振興班

酒井理事

小黒班長

認知症対策班

河合班長

地域共生社会対策委員会

運転と地域移動推進委員会

特常設委員会

災害作業療法検討推進委員会

中級パラスポーツ指導員養成講習会
事業検討委員会

いつもの街を
あたたかく
感じました。



ともに食べる
ともに咲いた花を見る
ともに釣りをする
ともに絵を描く
ともにご飯をつくる
ともに掃除をする
ともに働く
ともに踊る
ともに涙する
ともに考える
ともに夕暮れを歩く
ともに笑う
ともに生きるを一つひとつ
私たちはこの街につくる

作業療法士は
地域共生社会を、
理念で終わらせない。

「作業療法士は
地域共生社会を、
理念で終わらせない」

地域共生社会 5 ヵ年戦略

I. スローガン:

人々の活動・参加を支援し、地域共生社会の構築に寄与する作業療法

II. 最上位目的:

作業療法士が地域のさまざまな場(医療・介護・福祉・保健・教育・労働・司法等の領域)において、地域に根ざしながら、専門職間のつながりはもとより、そこで共に暮らしている健康な人・障害のある人を含む老若男女すべての人を対象に(または協働して)、作業(生活行為)に焦点を当てた支援や調整によって、人と人のつながり、人と社会のつながりを創り出し、人々の健康と幸福を促進する

III. 上位目的

上位目的 1 それぞれの地域ですべての人の活動・参加を支援する作業療法

上位目的 2 人々の活動・参加を支援できる作業療法士の育成の強化と教育システムの整備

日本作業療法士協会 2024年度重点活動項目

地域共生社会の構築に寄与する作業療法の実現に向けた取り組みの推進

2024年度は第四次作業療法5ヵ年戦略(地域共生社会5ヵ年戦略・組織力強化5ヵ年戦略)の2年目の年である。

今次の5ヵ年戦略は、「人々の活動・参加を支援し、地域共生社会の構築に寄与する作業療法」を目指している。重点活動項目はこの継続的な取り組みのなかに位置付けられるため、その構造に即した項目立てを行い、特別重点項目を加えて整理した。

今年度は、地域で暮らすすべての人々を対象として、人々の活動・参加を支援し、地域における人のつながりや人と社会のつながりを創り出す作業療法をより具現化するための事業を推進する。そのためには、会員所属施設、各都道府県作業療法士会、学校養成施設とも有機的に連携して組織力を高めた体制整備を行い、作業療法士全体が一体となって取り組むこととする。

I.地域共生社会 5 カ年戦略関連

1. 医療機関から企業や就労支援機関等への情報提供および連携に関する実践事例集の作成と周知
(制度対策部)

2. 地域づくり支援に参画する取り組みのモデル化、自治体に関わる作業療法士の配置
(市町村担当者等)の推進(地域社会振興部)

1) 士会の状況に応じた柔軟な方法により、50%以上の市町村に担当者を配置し、
市町村担当者－都道府県 士会－協会間連携の組織化を推進

2) 士会、事業所、会員個人が主導的に取り組む前駆的で作業療法の専門性を活かした
地域づくり活動の支援、有効性の検証、モデル化して情報発信、実践を増やす事業の開始

3. 障害児・者の暮らしを豊かにするICT 機器等の活用支援と人材育成(生活環境支援推進室)

4. 小・中学生を含む次世代に向けた作業療法の広報啓発事業の展開および広報媒体の拡充
(制作広報室)

地域事業支援課

●地域包括ケア推進班

事務的業務

- ①事務局内調整
- ②各事業のデータ集積と管理
- ③各種会議の計画と開催準備、議事録等の管理
- ④関連委員会への事務的支援、委員会の開催企画
- ⑤文書作成、発送、ホームページアップデート等

地域共生社会5カ年戦略・重点活動項目関連事業の企画実行業務

- ①医療から地域(在宅)への移行促進 事業
- ②「短期集中型サービス」の参画促進 事業
- ③OT参画のための市町村担当者設置 事業
- ④協会－士会連携・士会間連携(ブロック機能) 事業
- ⑤地域事業参画推進のための士会マネジメント 事業
- ⑥「重層的支援体制整備事業」の実態を把握と参画推進 事業
- ⑦「保健事業と介護予防の一体的実施」参画 事業
- ⑧地域づくりに資する作業療法士参画モデル 事業

その他の企画実行業務

- ①地域共生社会対策委員会関連
- ②OT参画実態調査 関連
- ③地域事業支援会議の企画運営 関連
- ④協会誌、ホームページを活用した情報提供 関連
- ⑤地域人材育成システムの管理 関連

地域包括ケア推進班 2024年度 事業計画

I. 重点活動項目関連活動

1. 地域づくり支援に参画する**取り組みのモデルをカタログ化**し、自治体に関わる作業療法士の**配置(市町村担当者等)**を推進する。

1) 士会の状況に応じた柔軟な方法により、**50%以上の市町村に担当者を配置し**、市町村担当者－都道府県士会－協会間連携の組織化を推進する。

2) 士会、事業所、会員個人が主導的に取り組む前駆的で作業療法の専門性を活かした**地域づくり活動の支援や有効性の検証**を行い、モデル化して情報発信し、実践を増やす事業を開始する。

Ⅱ. 第四次作業療法5カ年戦略関連活動

【地域共生社会】

1. 医療から介護保険・障害福祉制度・その他地域資源を利用した地域(在宅)移行支援のモデルを提示し、普及を図る。

1) 短期集中型サービス以外の医療から地域(在宅)への取り組みを促進する。医療から地域生活への移行促進のために、軽度者支援における総合事業へのアクセスや申し送りのあり方等の取り組み事例集・取り組みマニュアル等の作成や活用のための広報や普及進捗状況の把握・関係者への報告を行う。

2. 医療機関から「短期集中サービス」利用への連携を推進する。

1) 「短期集中型サービス」の参画を促進する。総合事業・短期集中型サービスの取り組み事例集・取り組みマニュアル等の作成、活用のための広報、普及進捗状況の把握・関係者への報告を行う。

3. 地域づくり支援に参画するための「士会推進のマネジメント手法」の検証と実施士会の拡大を図る。

1) 地域事業参画推進のための士会マネジメント手法の確立を図る。地域事業参画推進のための士会マネジメントモデルを士会に普及し、地域共生社会対策委員会の事務的支援、事業進捗状況の把握・関係者への報告を行う。

Ⅲ. 部署業務活動

1. 地域共生社会対策委員会を開催し、地域包括ケアシステムへの作業療法士参画支援を行う。
2. 地域共生社会対策委員会の開催支援を行う。
3. 作業療法士参画実態調査の企画実行を行う。
4. 地域事業支援会議の企画運営を行う。
5. 協会誌、ホームページを活用した情報提供を行う。